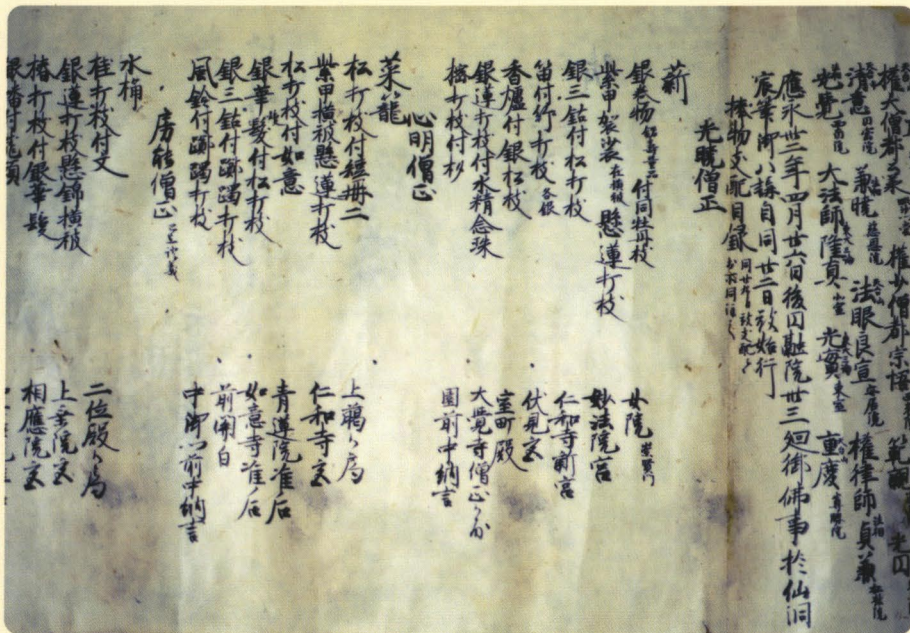


国立歴史民俗博物館 研究報告



藤原京の条坊施工年代再論 林部 均

山で木を切り、炭を焼く 吉村 郊子

【研究ノート】

旧高松宮家伝来東山天皇宸翰と宝永改元 野村 玄

【資料紹介】

中世禁裏の宸筆御八講をめぐる諸問題と
『久安四年宸筆御八講記』

井原今朝男・國學院大学院生ゼミグループ

【調査研究活動報告】

国立歴史民俗博物館蔵 古文書・古典籍料紙の調査 宍倉佐敏

歴博国際研究集会

「日韓先史時代の集落研究」開催報告 藤尾慎一郎・李 昌熙

第160集

平成22年12月

Bulletin of
the National Museum
of Japanese History

**国立歴史民俗博物館
研究報告
第160集**

目次

藤原京の条坊施工年代再論	林部 均	1
山で木を切り, 炭を焼く ある炭焼きと薪炭林のかかわり史	吉村郊子	29
[研究ノート]		
旧高松宮家伝来東山天皇宸翰と宝永改元 下光の制度的位置	野村 玄	189
[資料紹介]		
中世禁裏の宸筆御八講をめぐる諸問題と 『久安四年宸筆御八講記』	井原今朝男・ 國學院大学院生ゼミグループ	207
[調査研究活動報告]		
国立歴史民俗博物館蔵 古文書・古典籍料紙の調査	宍倉佐敏	229
歴博国際研究集会 「日韓先史時代の集落研究」開催報告	藤尾慎一郎・李 昌熙	73

Contents:

HAYASHIBE Hitoshi	—— Reexamination of the Year of the Construction of Jobo of Fujiwara-kyo1
YOSHIMURA Satoko	—— The Individual's Choice and Action in Environmental Use and Restoration : A Case Study of the Relationship between a certain Charcoal Maker and Coppice Forests in Wakayama29

Research Notes

NOMURA Gen	—— Letter by Emperor Higashiyama in Prince Takamatsu's Household and Change of the Hoei Era : with Special Reference to the Institutional Position of "Shitahikari"189
------------	---	----------

Research Materials

IHARA Kesao and Kokugakuin University Graduate Student Group	—— Problems over Shinpitsu Gohakko in the Medieval Imperial Palace and "Shinpitsu Gohakko-ki in Kyuan 4"207
--	---	----------

Report on Investigation and Research Activities

SHISHIKURA Satoshi	—— Research on Ancient Documents of the National Museum of Japanese History229
--------------------	--	----------

FUJIO Shin'ichiro and LEE Chang-hee

—— Report on the Rekihaku International Research Meeting "Study on Villages in Prehistoric Japan and Korea"73
--	---------

『国立歴史民俗博物館研究報告』寄稿要項

- 1 国立歴史民俗博物館研究報告（以下「研究報告」という）は、歴史学、考古学、民俗学及びそれらの協業による広義の歴史学並びにそれらと関連する諸分野に関する論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告を掲載・発表することにより、それらの学問の発展に寄与するものである。
- 2 研究報告に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
 - 一 国立歴史民俗博物館（以下「博物館」という。）の教職員（客員教員を含む。）
 - 二 運営会議委員
 - 三 名誉教授
 - 四 博物館が受け入れた各種研究員及び研究協力者
 - 五 特別共同利用研究員のうち受入れ期間中の研究成果の発表を希望する者で、指導教員が推薦した者
 - 六 博物館の館蔵資料を調査・研究し、その成果をまとめた者
 - 七 その他博物館において適当と認めたる者
- 3 原稿を寄稿する場合は、論文、研究ノート、資料紹介、調査研究活動報告のうち、いずれであるかをその表紙に明記するものとする。なお、この区分についての最終的な調整は、博物館の研究報告編集委員会（以下「編集委員会」という）において行う。
- 4 原稿執筆における使用言語は、日本語を原則とする。ただし、他の言語を用いる場合は、日本語の翻訳か抄訳を付ける。
- 5 特殊な文字、記号、印刷方法が必要な場合は、編集委員会に相談するものとする。
- 6 寄稿する論文には、800字以内の日本語要旨と400語程度の英語要旨を付けるものとする。また、5項目以内のキーワードを付ける。
- 7 寄稿する原稿の分量は40頁以内に収めること。その内、写真・図版等は論文表現のうえて必要最小限にとどめ、10頁をこえないこと。また、写真・図版等は掲載箇所を指示し、大きさを指定すること。カラー頁は原則として認めない。なお、編集委員会の判断により、全体の分量等の関係から圧縮や分割掲載を指示する場合がある。

1頁あたりの構成：縦書 32字 27行 2段
横書 44字 37行 1段

文字の大きさ : 13 Q
大きさの目安 : 版面 横 169mm × 縦 237.5mm (最大)
- 8 写真・図版等の掲載に関する許諾は寄稿者がとること。
- 9 寄稿の際は打ち出し原稿3部及びFD、CD等電子媒体1部を添付すること。
- 10 寄稿された原稿は、編集委員会において査読者を定め、審査のうえ、採否を決定する。
- 11 博物館で作成する抜刷は、100部までとする。
- 12 稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 13 著作権は執筆者に帰属する。
- 14 編集著作権は、大学共同利用機関法人人間文化研究機構に帰属する。
- 15 機関リポジトリ等への掲載は、研究報告の紙型を用いた場合は研究報告刊行から1年後以降に、また紙型を用いないデータのみの場合は、研究報告奥付日以降に初出を明記した上で掲載をすることができる。
- 16 原稿の寄稿先および連絡先は、次のとおりとする。

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117番地
国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会（代表電話 043-486-0123）

〔国立歴史民俗博物館研究報告編集委員会〕

館外委員（五十音順）

今村 峯雄 国立歴史民俗博物館名誉教授
小林 謙一 中央大学文学部
高木 博志 京都大学人文科学研究所
八木橋 伸浩 玉川大学リベラルアーツ学部

館内委員

井原今朝男 歴史研究系（編集委員長）
関沢まゆみ 民俗研究系
永嶋正春 情報資料研究系
広瀬和雄 考古研究系
青山宏夫 歴史研究系（研究推進センター長）

国立歴史民俗博物館研究報告 第160集



平成22年（2010）12月28日 第1版第1刷発行

（非売品）

発行所



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構

国立歴史民俗博物館

〒285-8502 千葉県佐倉市城内町117 ☎043-486-0123（代）

印刷・製本所



勝美印刷株式会社

〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-7 ☎03-3812-5201（代）

〔装丁〕 中山銀士

Bulletin of the National Museum of Japanese History



Reexamination of the Year of the Construction of Jobo of Fujiwara-kyo
HAYASHIBE Hitoshi

The Individual's Choice and Action in Environmental Use and Restoration :
A Case Study of the Relationship between a certain Charcoal Maker and Coppice Forests in Wakayama
YOSHIMURA Satoko

Research Notes

Letter by Emperor Higashiyama in Prince Takamatsu's Household and Change of the Hōei Era :
with Special Reference to the Institutional Position of "Shitahikari"
NOMURA Gen

Research Materials

Problems over Shinpitsu Gohakko in the Medieval Imperial Palace and "Shinpitsu Gohakko-ki in Kyuan 4"
IHARA Kesao and Kokugakuin University Graduate Student Group

Report on Investigation and Research Activities

Research on Ancient Documents of the National Museum of Japanese History
SHISHIKURA Satoshi

Report on the Rekihaku International Research Meeting "Study on Villages in Prehistoric Japan and Korea"
FUJIO Shin'ichiro and LEE Chang-hee